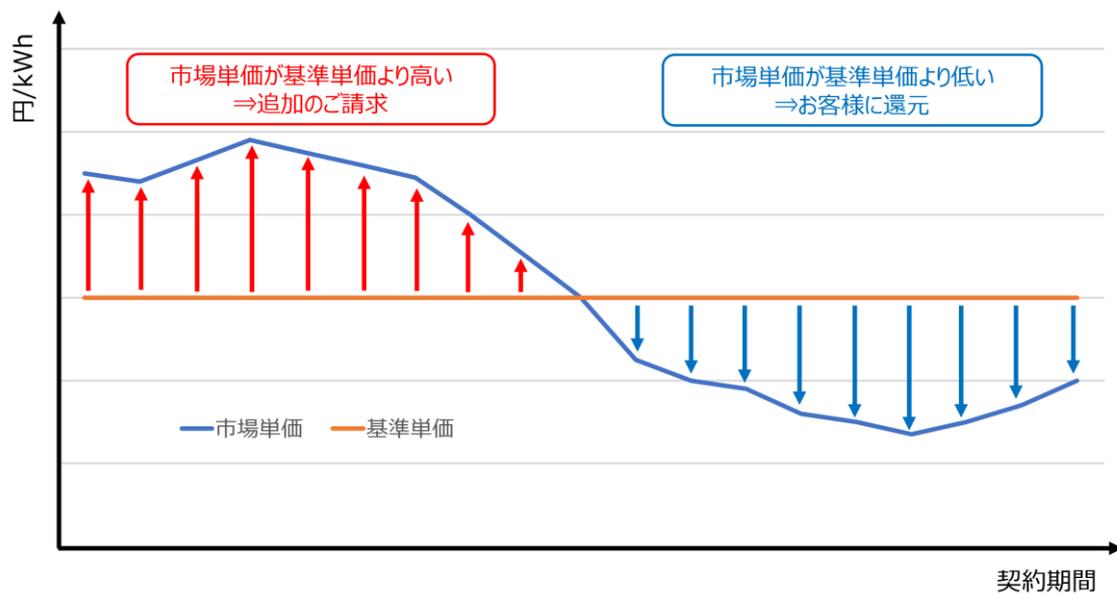


電源調達調整費とは

当社は電力の卸市場等から仕入れた電気をお客さまに提供しております。発電施設に係る費用を削減していることが、お客さまに安く電気を提供できることにつながっております。

一方で、ウクライナをめぐる地政学的な変化に伴う現下の国際情勢に鑑み、欧米諸国による経済制裁強化、ロシアの対抗措置であるエネルギー資源の供給抑制等が全世界的に甚大な影響を与え、石油・天然ガス・石炭等の資源価格が継続的に高騰しているため、食品、日用品、ガソリンをはじめとする一般消費財や公共料金など、すべての物価が上昇しております。そのような環境下において、電力の卸市場等での取引価格も日々変動し、急騰・暴落する可能性もございます。

当社は、お客さまのために、これまでと変わらない安定・安心のサービス品質を長期的かつ持続的に実現していくことを見据え、卸市場価格等が一定範囲を超えて値上がり・値下がりした場合に、お客さま毎に変動する電気ご使用状況に応じて料金が算定される『電源調達調整費』を設けております。



💡 電気料金の算定方法

基本料金 + 電力量料金 + 電源調達調整費 + 再生可能エネルギー発電促進賦課金

電気料金算定イメージ



💡 『調達調整費』の算定方法

【調達調整単価※が追加請求基準単価を上回った場合】

$(\text{JEPX 等仕入実単価} - \text{追加請求基準単価}) \times \text{使用電力量(kWh)} \times 100\%(\text{追加請求})$

【調達調整単価※が還元基準単価を下回った場合】

$(\text{還元基準単価} - \text{JEPX 等仕入実単価}) \times \text{使用電力量(kWh)} \times 100\%(\text{還元})$

※一般社団法人日本卸電力取引所のスポット市場取引における、毎月1日からその月の末日までの期間に係る一般送配電事業者の供給区域のエリアプライス平均単価などの電源調達に係る係数を用いて算出されます。

※参考例：調達調整単価（金額は税込み、円/kWh）

エリア	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
追加請求基準単価	35.0	35.0	35.0	32.0	28.0	28.0	29.0	28.0	24.0
還元基準単価	25.0	25.0	25.0	22.0	18.0	18.0	19.0	18.0	14.0

※参考例：調達調整単価を用いた調達調整費の算定方法（東京エリアの場合）

追加請求	還元
JEPX 等仕入実単価が 38.0 円 使用電力量 500kWh の場合	JEPX 等仕入実単価が 22.0 円 使用電力量 500kWh の場合
$(38.0 \text{ 円} - 35.0 \text{ 円}) \times 500 \text{ kWh}$ = 1,500 円 追加請求	$(25.0 \text{ 円} - 22.0 \text{ 円}) \times 500 \text{ kWh}$ = 1,500 円 還元

💡 ご留意事項

電力の卸市場価格等が基準単価を上回った場合、お客様の電気料金が高騰する可能性があります。反対に、基準単価を下回った場合は、お客様の電気料金を割り引かせていただきます。